

第2回 テーマ

主体的な学び～単元構想とメタ認知～

「主体的な学び」とは・・・

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。【中央教育審議会答申(2016年12月)】

という
ことは、

見通しを持
って粘り強
く取り組
む



自己の学習
活動を振り
返って次につ
なげる



「主体的な
学び」

単元の展開を
デザインする

当該単元における
資質・能力の育成に向けて、
単元の展開をデザイン

評価の観点と
振り返りをリンク

単元の指導計画 例) 小学校第3学年 社会「店ではたらく人びとの仕事」(全8時間)				評価とその場面(例)		
【単元の目標】				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1時	動機付け	学習課題を設定する	スーパーマーケットに行った経験や売り場の写真をもとに、考えられる工夫を予想する。		消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。	地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習課題を追究し、解決しようとしている。
2時	方向付け	課題解決の見通しをもつ	課題解決のために見学の計画を立てるとともに、班ごとに調べるポイントや具体的な調査方法をまとめる。			
3～5時	情報収集	予想や仮説の検証に向けて調べる	見学で、店内の様子を調べたり、働いている人にインタビューをしたりして工夫を調査し、工夫発見カードにまとめる。	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。		
6時	考察・構想	社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する	見学で得た情報を整理し、販売する側の仕事の工夫と消費者の願いの関連を考える。	調べたことを図表や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。		
7時	まとめ	考察・構想したことをまとめる	販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫をまとめる。		販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことを基に消費者としてできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	
8時	振り返り	学習したことを振り返って考察する	学習を振り返り、見つけた工夫にびっくりなキャッチコピーをつくって、班や学級で紹介し合い、生活に生かせることを話し合う。			学習したことを基に消費者としてできることを考えようとしている。

新大分スタンダードに基づく
Q&A」も

見通しを
持って粘り
強く取り組む

「主体的な
学び」

自己の学習活動
を振り返って次に
つなげる

当該単位における資質・能力の育成に向けて、単元の展開をデザイン。



その際、内容のまとめりや各教科等の特質に応じた学習過程を意識して、一連の問題解決として展開を考える。



教科等の特質に応じて、児童生徒と「学習計画」を共有したり、下のように「学びの足跡」を活用したりしましょう。



評価の観点	児童生徒に振り返らせること	視点
知識・技能	過去の実験や学習と関連付ける	過去
思考・判断・表現	学習のプロセスや成果を振り返る	現在
主体的に学習に取り組む態度	次回の学びにつなげる	未来

評価の観点(知・技、思・判・表、主学態)と振り返りをリンクさせる

学習者は
「学びを実感」

授業者は
「授業改善」

3枚目シートに、「児童生徒に示す具体的な振り返りの視点(例)」を掲載

「振り返り」の好事例

「振り返りの視点」
に沿って書いた
振り返りをグループ
で回覧して共有。

友だちの振り返りで
共感したところには、
下線を引いてそれ
ぞれに返す。

回覧することで「振り返りを書く」目的意識をもたせる

評価の観点	児童生徒に示す具体的な振り返りの視点(例)
知識・技能	本時の学習内容で分かったことやできたことは何か 等 (例)・前時と比べて、分かったことやできたことは何か ・本時で学んだことや前時との違いは何か
思考・ 判断・表現	学び合いの中でもった自分の考えや友達の考えに共感したことを書いたり、話したりできたか 等 (例)・観察、交流を重ねて自分の考えを深められたか ・自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために工夫したことは何か
主体的に学習に取り組む態度	学びを今後の学習や生活にどのようにいかしていくのか、もっと考えたいこと調べたいことは何か 等 (例)・今日の学習から次にどのようなことを知りたいか、調べたいか ・普段の生活にいかせることはないだろうか